

# 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2010 報告書

世界中のだれもがみんな学校に通えて、質の良い教育が受けられるように、世界の NGO が呼びかけているキャンペーンです。



教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

世界中の子どもに教育をキャンペーン実行委員会



## 「世界一大きな授業」 日本の参加者は 4 万人を突破！

毎年 4 月、100 以上の国と地域で行われるキャンペーン。2010 年はワールドカップ南アフリカ大会にちなんで南アフリカ政府や FIFA(国際サッカー連盟)といっしょにゴールをめざしました。



世界で参加した人は、子どもたちを中心に 1200 万人にのぼります。

キャンペーンが始まった 2003 年の参加者は 200 万人でした。7 年間で 1000 万人も増えています。



日本では小中高校、大学 351 校の 41,940 人に加えて岡田外務大臣をはじめ国会議員も「世界一大きな授業」を受けました。昨年 2009 年に参加した 152 校、19,683 人の 2 倍以上と、大きく広がっています！

---

「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2010 事務局 <http://jnne.org/gce2010/>  
〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F プラン・ジャパン内  
TEL: 03-5481-0030 FAX: 03-5481-6200 E-mail: [event@plan-japan.org](mailto:event@plan-japan.org)

日本で

## 小学生から大学生、国会議員も参加

4月20日、世界同時に「世界一大きな授業」を行いました。日本ではこの日を中心に、北海道から沖縄まで、小学校、中学校、高校、大学、351校、41,940人が参加。共通の教材を使い、世界で、教育を受けることができていない子どもたちの現実と、だれもが学校に通えるために必要なお金などについて学びました。

### 小学生も

武蔵野東小学校(東京)



### 中学生も

陽和中学校(三重)



### 大学生も

早稲田大学(東京)



### 国会議員も

参議院議員会館



4月20日は、キャンペーンを主催する教育協力NGOネットワークの呼びかけで、国会議員が「生徒」になり、高校生が「先生」になって授業を参議院会館で行いました。岡田外務大臣をはじめ超党派で国会議員21人と議員の代理14人が出席。世界の軍事費と必要な教育援助額をリボンの長さで比較するなど参加型で「生徒」たちもしっかり学びました。

岡田大臣は、その日の記者会見で、世界の子どもたちが教育を受けるための支援の重要性を語りました。

### ◆みんなが感じたこと、考えたこと◆

◆できることは何なのか考えると意外にいっぱいあってびっくりしました。ペットボトルのキャップを集めたりして、進んで役立つことをしたいです。(東京・八王子市立別所小学校 5年生) / ◆普段普通に生活していて学校に通うのがいやだと思っていたけど、学校に通えなくて字が読めない人がいるなんて知りませんでした。◆もっと世界中の暮らしを知りたくなった。◆いつもゲームなどをほしいといっていました、世界で4兆もゲームのために使っていると聞いて、やめようと思いました。(神奈川・横浜市立瀬谷さくら小学校) / ◆1年生の頃から「世界一大きな授業」を受けているのですが、いつも自分が何不自由なく生活していることが申し訳なく、けれどその環境を大切に有意義に活かせればと思います。◆世界で起こっていることに敏感でいたいと思った。◆軍事費なんかあっても戦争するだけなんだから、教育費にまわせばいいのに。おろかな大人のケンカに、まわりの子供をまきこまないでほしい。(東京・本郷台中学校) / ◆「知らなかったから。」ですますのではなく、途上国の人たちについて何かできないかを考えたいです。◆物をあげることがその国の発展になっていないのは意外でした。子どもが学校に通えるようにするにはその国が安定することだと思います。そのためには世界中が平和になる必要があると思います。◆自分は授業を「たるい」「つまらん」「眠る」とか考えていたけど、世界の子供は学校に行きたくてしょうがない！！って子がいることに自分が恥ずかしいなあと思った。◆「貧しいなら気安く産むな」と思っていたけど、軍事費の話などを聞いて、国がおかしい事を認識した。まずは自分の意識を変えなくてははいけない。(愛知・豊川高校 2年生) / ◆多くの人に伝えていかなければいけないと思いました。◆僕にできることは、書き損じハガキ、ペットボトルのキャップや資金を援助することだけです。大人になればもっと幅広い活動を行えるので、これから世界の人々に協力していこうと思います。(和歌山・那智勝浦町立色川中学校)

100以上の国と地域で、1200万人が参加



パレスチナ



ジブチ



ヨルダン



ギリシャ

- ◆南アフリカ共和国／5万人の子どもたちが「世界一大きな授業」に参加。授業の様子はワールドカップ終了までテレビで放送。
- ◆デンマーク／「世界一大きな授業」で学んだアンゴラにボランティアが訪問し、地元の遊びなどについて調べて帰り、コペンハーゲンの国会議員広場でイベントを開く。
- ◆インド／児童労働に従事させられていた子どもたちが国会議員と面会。教育の権利の法律への取り組みを訴えた。



### FIFAとともに1GOAL（ワンゴール）キャンペーン

「教育のためのグローバル・キャンペーン」(Global Campaign for Education)は、2010 ワールドカップ開催にあわせて FIFA(国際サッカー連盟)と連携して、1GOAL(ワンゴール)キャンペーンを180カ国以上で展開しています。すべての子どもが教育を受けられることを願う950万人の声が寄せられ、世界のリーダーたちに届けます。



### 教育支援の不足を訴え、「イエローカード」!

日本では「世界一大きな授業」の後、教育支援の拡大を願う子どもたち8138人が首相宛の「イエローカード」を寄せてくれました。政策への反映を訴え、教育協力NGOネットワークが日本政府に届けます。

いまま 7,200万人の子どもたちが教育の機会を奪われて  
学校に行けない子どもは、1999年に比べて3300万人減少しました。

しかし今も7,200万人の子どもたちが教育の機会を奪われ、7億5,900万人の  
大人が読み書きできません。世界の国々は、2015年までの教育の完全普及を約束しています。

その約束が果たされるよう、来年もキャンペーンを実施します。ぜひご参加ください。また国会議員への「授業」を実施する計画です。ご注目ください。

来年も、みんなで  
参加しよう!

## 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2010は、この8団体が実施しました。

これらの団体は、市民の立場から途上国での教育支援を行っています。国内では、募金受付、事務局訪問受け入れ、講師派遣、教材・資料の貸し出しをはじめ、さまざまな機会を設け、皆さんの参加を呼びかけています。

団体	主な活動	学校向け教材
 (特活)ACE(エース) 03-3835-7555 <a href="http://acejapan.org">http://acejapan.org</a>	「児童労働」の撤廃と予防に取り組んでいます。チョコやサッカーボールなど身近なモノを通じて児童労働を伝える活動や、インド・ガーナの子ども支援を行っています。	・「おいしいチョコレートの真実」教材 & DVD(販売) ・児童労働写真パネル(貸出) ・サッカーボール縫い体験キット(貸出)
 (特活)オックスファム・ジャパン 03-3834-1556 <a href="http://www.oxfam.jp">http://www.oxfam.jp</a>	オックスファムは世界 100 か国以上で、貧困から立ち上がる人々を支援し、貧困の根本的な解決を目指し活動する国際協力団体です。	・ハンガーバンケット(世界の食料格差を体感するワークショップ)ほか ・写真展リレー(パネル貸出:無料) ・英語で学ぼう 世界の貧困
 (社)シャンティ国際ボランティア会 03-5360-1233 <a href="http://www.sva.or.jp">http://www.sva.or.jp</a>	アフガニスタン、カンボジア、ラオス、タイ、ミャンマー(ビルマ)難民キャンプで、おはなし、絵本出版などの図書館活動と学校建設を中心とした教育・文化支援活動を行っています。	「絵本を届ける運動」カンボジア、ラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンの学校や図書館に送るために日本の絵本に翻訳文を印刷したシールを貼り付ける活動
 (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 03-6859-6869 <a href="http://www.savechildren.or.jp">http://www.savechildren.or.jp</a>	国連公認の国際 NGO。子どもの権利の実現を目指し、世界 120 か国以上で、子どものための支援活動を展開しています。	・世界の子ども状況や国際協力活動を知るための教材販売・貸出 ・参加型学習プログラムの実施(事務局訪問受け入れ時)
 (財)日本フォスター・プラン協会 03-5481-0030 <a href="http://www.plan-japan.org">http://www.plan-japan.org</a>	途上国 48 か国の子どもとともに地域開発を進める国際 NGO。途上国の子どもと交流するプラン・スポンサーシップが特徴で、学校クラスの交流もあります。(プラン・ジャパン)	・クラス交流「ガオ村チャンネル」 ・子ども用サイト「プラン・スクール」 ・絵本ワークブック「村を動かした男の子」(無料配布) ・世界の国ボックス(貸出)
 (特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 03-3835-0221 <a href="http://www.ftcj.com">http://www.ftcj.com</a>	子どもが主体的に活動することを大切にしています。つまり、「子どもが子どもを支援する」国際協力を合言葉に活動しています。	・リーダシップトレーニング講座 ・子ども活動応援ウェブサイト ・「児童労働ゲーム」ほか貸出 ・子ども向け書籍
 (財)ユネスコ・アジア文化センター 03-3269-4435 <a href="http://www.accu.or.jp">http://www.accu.or.jp</a>	識字、ノンフォーマル教育教材開発、人材育成、ネットワーク作りに取り組めます。また、持続可能な開発のための教育(ESD)の教材制作、活動推進拠点やプロジェクト支援を行います。	・識字アニメーション「ミナの笑顔」37言語収録版 ・環境教育教材 PLANET シリーズ ・ESD 教材活用ガイド ・アジアの友達に会おう！(絵本)
 (特活)ラオスのこども 03-3755-1603 <a href="http://deknoylao.org">http://deknoylao.org</a>	ラオスの人々の絵本、紙芝居などの作品作りを応援し、小学校などに届けています。日本では、日本の絵本にラオス語を貼り、ラオスに送るボランティア活動に多くの人々が参加しています。	日本の絵本にラオス語の翻訳を貼ってラオスに送りませんか。貼った人のサイン入り絵本が子どもたちに楽しく読まれます。

後援 文部科学省、外務省、国際協力機構(JICA)、開発教育協会(DEAR)、動く→動かす  
 賛同団体 国際開発救援財団(FIDR)、ワールド・ビジョン・ジャパン、アフリカ地域開発市民の会(CanDo)